

20年後に実現したい姿

【「もうひとつの京都」が世界有数の観光ブランドとして確立】

●「海の京都」、「森の京都」、「お茶の京都」、「竹の里・乙訓」について、観光地域づくりをさらに深度化させ、それぞれの地域の住民の自信と誇りが高まるとともに、旅行者等に共感、愛着、満足度をもたらす「滞在型観光地」として、世界有数の観光ブランドとなっています。

【「もうひとつの京都」の交流人口が拡大し、地域経済が活性化】

●「もうひとつの京都」それぞれの地域において交流人口が拡大するとともに、観光と農林水産業、文化、福祉、商工業、まちづくりなど、幅広い分野との連携強化により、地域経済が活性化しています。

4年間の対応方向・具体方策

共通

「もうひとつの京都」各エリアの戦略拠点形成と快適な周遊環境の実現のため、DMOが観光地域づくりの総合プロデューサーとしての機能を果たせるよう、多様な主体と連携しながら、地域の豊富な資源を生かした体験型観光の拡大を通じて、持続的に観光地経営を進めます。

- 1 地域コミュニティの再生と「もうひとつの京都」セカンドステージ等の地域政策を一体的に展開
- 2 地域資源を生かした観光コンテンツづくりや旅行商品の開発・販売など、体験型観光を拡大
- 3 京阪神からの交通アクセス改善や京都市発観光周遊バスの運行等で、もうひとつの京都エリアへの送客を拡大
- 4 インバウンド対策として、多言語ガイドの育成、滞在プログラムの開発・多言語化・キャッシュレス決済等を推進
- 5 伝統的建造物や古民家等を活用した宿泊施設の創出や、周遊性を高める移動手段を確保
- 6 多言語による魅力的なホームページやSNS等の活用により、情報発信力を強化
- 7 DMOによる戦略的なプロモーションを展開するとともに、DMO間での協力体制づくりや、隣接府県と連携した観光商品づくりを推進
- 8 電動小型車両の導入やカーシェアリングなどを活用した観光周遊の推進
- 9 「日本茶800年の歴史散歩」や「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」など、日本遺産や「農泊食文化海外発信地域」の認定を通じた地域のブランド化の推進
- 10 世界遺産等周辺のサインの統一や平等院・天橋立周辺での無電柱化の推進、府景観資産の登録拡大

海の京都（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）

- 11 海の京都DMOを中心に、日本遺産や食等の地域資源を発掘・発信し、強いブランド力をもった観光圏を形成
- 12 京都舞鶴港クルーズ客をターゲットにしたオプションルツア어의開発や、近畿圏内からのアクセス向上等による交流人口の拡大
- 13 天橋立を中心とする地域の魅力を世界に発信し、普遍的な価値の調査研究を進め、世界遺産登録をめざす

森の京都（亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市）

- 14 森の京都DMOを中心に、食を通じた地域活性化やスポーツ体験等、大都市との近接性を生かした観光コンテンツづくりを推進
- 15 京都スタジアムを核に魅力ある資源の活用と、新たな保津川下りの船着場整備等、広域観光周遊をDMOと連携して推進
- 16 豊かな森の文化と保津川の水運文化の保存と活用を図り、日本遺産の登録をめざす

お茶の京都（宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村）

- 17 お茶の京都DMOを中心に、交流拠点整備や宇治茶等の地域資源の観光コンテンツづくり等文化と産業の両面から地域づくりを推進
- 18 宇治茶のプレミアムブランド化や宇治茶の世界遺産登録に向けた取組を推進するとともに、宇治茶カフェを京都市域や首都圏に拡大
- 19 道路・鉄道網の整備の進捗に合わせ、バスやカーシェアリング等の観光周遊を京都市やDMO等とも連携し促進

竹の里・乙訓（長岡京市、向日市、大山崎町）

- 20 豊富な歴史や筍等を観光資源とし、京都市隣接の好条件を生かした戦略的な地域ブランド化により、観光交流・消費額を拡大
- 21 お茶の京都DMOとも連携した広域的な観光周遊を促進